

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年10月15日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから10月15日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿いまして、御説明をいたします。

まず、来週の委員会は、定例会に加えまして午後に臨時会議があります。こちらは公開です。

議題はJAEAの経営層との意見交換ということになります。

ちょうどJAEAの次の中長期計画、来年度から2028年度までの7年間の計画を新しく定める、そういう時期なので、それに向けた取組などを説明して意見交換をするものと聞いております。

裏面に行きまして、10月19日の（4）1Fの事故分析検討会です。

議題は3つありまして、1つ目が、中間取りまとめへの意見を聞くというシリーズを今やっていますけれども、その3回目。7月、9月に続く3回目で、今回は中部電力、北陸電力、電源開発の3社から聞くというものです。

議題の2つ目が、シールドプラグの件につきまして、これはずっと引き続きで調査をやっているものですが、その調査の結果の報告があるということになります。

議題の3は「ケーブル加熱実験等について」と書いていますけれども、事故のとき水素爆発でケーブルなども燃えたのではないかと考えられていますので、その調査のためにケーブルを加熱する、そういう実験をします。今後するというので、そのやりますよという報告ということのようです。

次が、10月22日の（6）第1010回審査会合です。

今回の議題は泊の地震動評価についてということで、震源を特定して、特定するほうの、策定する地震動について、7月30日の会合のコメントへの回答ということになります。

説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってか

ら質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

ハセガワさん、どうぞ。

○記者 NHKのハセガワです。

19日の事故分析検討会で、議題3でケーブルの加熱実験についてというのがあるのですが、これは規制庁側の加熱実験ですか。それとも東京電力。

○黒川総務課長 これは両方で協力してやると聞いていまして、細かくは聞いていないのですけれども、両側、両方でやると聞いています。

○記者 両者の計画がそれぞれ。

○黒川総務課長 それぞれなのかどうなのか分かりませんが、規制庁側でもやり、東電側でもやるということのようです。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問はございますか。

では、ヒロエさん、お願いします。

○記者 共同通信のヒロエです。

今日の広報日程の話ではないのですけれども、KKの本格検査というのが近づいていると思うのですけれども、その検査の冒頭の頭撮りとか検査に入るときの取材の体制とかは、今どのようにお考えでしょうか。

○黒川総務課長 一応何らかの取材対応はする形でしたいと思って調整をしていますけれども、実際どんな形というのはまだ検討中です。

○記者 核防護はなかなか取材が難しく、メディア側は絵が全くない状態なので、できればたくさん取材をしたいなと思っておりまして、よろしくをお願いします。

○黒川総務課長 承っておきます。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—